

(別紙4(2))

事業所名グループホーム新栄

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員体制により外出機会が限られており、頻繁に外出できない状況がある。気軽に外出できる体制をとることが課題に挙げられる。	いつでも外出が可能な職員体制をとり、気軽に外出をする。	職員の勤務シフトを再編し余裕の出る体制を確立する。	12ヶ月
2	10	行事や運営に関して家族が関わられるような企画、催しが希薄である。家族が関わった企画の立案をすることが課題に挙げられる。	家族を含めたイベント、行事を年間計画に入れ実施する。	外出やクリスマス会等、家族が参加しやすいイベントを企画しご案内をする。	12ヶ月
3	35	防災体制における地域の方との協力体制がまだとれていない。消防訓練、避難訓練時に地域の方に参加していただくかが課題。	防災訓練時に地域の方に参加していただく。	防災訓練実施前に近所の方へ周知をし、参加して頂けるよう促しを行う。	12ヶ月
4	2	活動が乏しい地域性ではあり、地域の一員としてのつながりがなかなか持てていない。	地域の一員として近隣の高齢者のニーズに沿える施設運営を行う。	当地区の法人居宅支援事業所、デイケアセンター、ヘルパーステーションと連携を密にし地域課題の収集、活動状況の把握を行い、施設でできることを考え実践していく。	12ヶ月
5	4	運営推進会議への家族の参加ができていない。	運営推進会議への家族参加をしていただく。	家族へ開催案内を事前に郵送し参加を促していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。